



報道発表

令和5年9月27日
横浜税関

横浜税関における密輸摘発状況(令和5年上半期)

**覚醒剤の摘発件数が過去最多ペース
押収量も前年同期比 10 倍超え**

1. 不正薬物^(※1)

不正薬物全体の摘発件数は130件(前年同期比50%減、全国の約3割)、押収量^(※2)^(※3)は約53kg(同83%減、全国の約1割)と、共に減少した。

(※1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。

(※2) 錠剤型薬物を除く。

(※3) 重量等未確定につき含まれないものがある。以下、個々の押収量についても同様。

(1) 覚醒剤

摘発件数は38件(同約4.8倍)、押収量は約35kg(同約10.8倍)と、共に増加した。

(過去最多の摘発件数は平成30年(年間)の40件)

(2) 大麻

- ・大麻草の摘発件数は10件(同23%減)、押収量は1kg未満(約187g)と、共に減少した。
- ・大麻樹脂等(大麻リキッド等の大麻製品を含む。以下同じ。)の摘発件数は4件(同56%減)、押収量は約1kg(同85%増)と、摘発件数は減少し、押収量は増加した。

(3) 麻薬

- ・コカインの摘発件数は6件(同2倍)、押収量は約1kg(同41%増)と、共に増加した。
- ・MDMAの摘発件数は10件(同57%減)、押収量は12kg(同約25.8倍)と、摘発件数は減少し、押収量は増加した。
- ・その他の麻薬(ケタミン・LSD等)の摘発件数は13件(同41%減)、押収量は2kg(同58%減)と、共に減少した。

(4) 指定薬物

摘発件数は45件(同75%減)、押収量は約1kg(同78%減)と、共に減少した。

2. その他

- ・冷凍牛肉をカンボジア仕向けと偽って香港に不正輸出した事案を摘発した。
- ・中国来国際郵便を利用して商標権を侵害するサッカーユニフォームを輸入しようとした事案を摘発した。

密輸情報フリーダイヤル **0120-461-961**
E-mail: yokohama-mitsuyu110@customs.go.jp

連絡・問合せ先

横浜税関 調査部 特別審理官(第1担当)

TEL045-212-6080

主な摘発事例

【事例1】

タイから到着した国際郵便物に隠匿された**覚醒剤約5,980g**を摘発した。

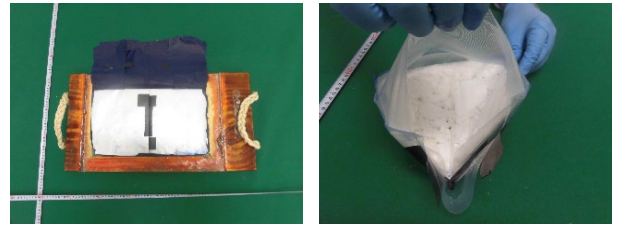
(令和5年3月・川崎外郵出張所)



【事例2】

ブラジルから到着した国際郵便物(木製板)に隠匿された**コカイン約502g**を摘発した。

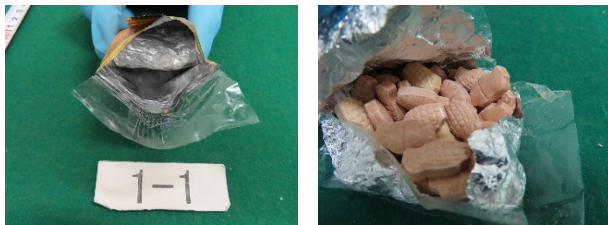
(令和5年1月・川崎外郵出張所)



【事例3】

ドイツから到着した国際郵便物(お菓子)に隠匿された**MDMA1,004錠**を摘発した。

(令和5年3月・川崎外郵出張所)



【事例4】

ドイツから到着した国際郵便物(お菓子)に隠匿された**ケタミン約99g**を摘発した。

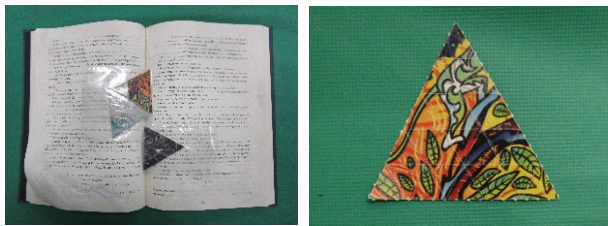
(令和5年3月・川崎外郵出張所)



【事例5】

ブラジルから到着した国際郵便物に隠匿された**LSD約6.8g**を摘発した。

(令和5年3月・川崎外郵出張所)



【事例6】

タイから仙台空港に到着した旅客の携帯品に隠匿された**大麻約3.1g**を摘発した。

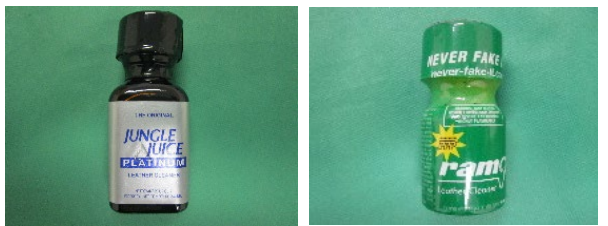
(令和5年4月・仙台空港税関支署)



【事例7】

スロバキアから到着した国際郵便物に隠匿された**指定薬物(亜硝酸イソプロピル)計約25g**を摘発した。

(令和5年3月・川崎外郵出張所)



【事例8】

中国から到着した国際郵便物に隠匿された**商標権を侵害するサッカーユニフォーム**を摘発した。

(令和5年1月・川崎外郵出張所)



【資料 1】社会悪物品の摘発実績（横浜）

種類	年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年同期比
					(1-6月)	(1-6月)	
覚醒剤	件	31	14	13	33	8	475%
	kg	58	301	472	56	3	10.8倍
大麻	件	127	99	94	35	22	64%
	kg	34	23	29	303	302	0%
大麻草	件	47	42	50	21	13	77%
	kg	27	8	3	302	301	0%
大麻樹脂等	件	80	57	44	14	9	44%
	kg	7	15	26	1	1	185%
あへん	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	125	95	143	81	48	60%
	kg	2	781	14	24	7	227%
	千錠	1	18	73	39	37	3%
ヘロイン	件	2	1	-	-	-	-
	kg	0	0	-	-	-	-
コカイン	件	11	8	14	4	3	200%
	kg	2	781	0	1	1	141%
MDMA等	件	53	43	44	38	23	43%
	kg	0	0	10	11	0	25.8倍
	千錠	1	17	71	39	37	3%
その他麻薬	件	59	43	85	39	22	59%
	kg	0	0	4	12	6	42%
	千錠	0	0	3	0	-	-
向精神薬	件	-	1	1	3	-	全増
	kg	-	-	-	0	-	全増
	千錠	-	1	0	-	-	全増
指定薬物	件	97	234	231	267	181	25%
	kg	4	161	10	5	4	22%
合計	件	380	443	482	419	259	50%
	kg	99	1,267	525	389	316	17%
	千錠	1	19	73	39	37	4%

銃 砲	件	-	1	-	-	-	-
	丁	-	1	-	-	-	-
うち拳銃	件	-	1	-	-	-	-
	丁	-	1	-	-	-	-
拳銃部品	件	-	-	1	1	1	全減
	点	-	-	1	2	2	全減

- (注) 1. 令和元年は、平成 31 年1月から令和元年 12 月を示す。以下同じ。
 2. 税関が摘発した密輸事件のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 3. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
 4. 大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
 5. MDMA 等は、MDMA、MDA 及び MDE の合計を示す。
 6. その他麻薬には、ケタミン・LSD 等が含まれる。
 7. 端数処理のため数値が合わないことがある。
 8. 数量の表記について、「0」とは 500gまたは 500 錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 9. 令和4年、令和5年の数値は速報値である。

【資料2】不正薬物の密輸形態別摘発件数（横浜）

（件）

形態別	年					令和5年	
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	(1-6月)	(1-6月)	前年同期比
航空機旅客による密輸	1	5	0	0	0	2	全増
国際郵便物を利用した密輸	376	429	471	407	257	123	48%
商業貨物を利用した密輸	3	9	11	12	2	5	250%
航空貨物	0	0	1	0	0	1	全増
海上貨物	3	9	10	12	2	4	200%
船員等による密輸	0	0	0	0	0	0	-
合計	380	443	482	419	259	130	50%

（注）航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

【資料3】不正薬物の仕出地別摘発件数（令和5年上半期）

仕出地	米国	スロバキア	タイ	ドイツ	オランダ	ブラジル	カナダ	イギリス	中国	ベルギー	その他	合計
摘発件数（件）	24	21	19	13	12	5	4	4	3	3	22	130
構成比（％）	18	16	15	10	9	4	3	3	2	2	17	100
前年同期比（％）	114	124	633	65	44	250	133	80	150	300	14	50

（注）端数処理のため数値が合わないことがある。